

保護者のみなさまへ

岸和田市立浜小学校
校長 山崎 洋

令和 7 年度 学校教育自己診断の結果と考察について

平素は、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

さて、本年度の学校教育自己診断を本年1月に実施しました。保護者のみなさまには、ご多用の中、アンケートにご協力いただきまして誠にありがとうございました。学校教育自己診断の結果と考察について下記のようにまとめましたので、ご一読ください。この結果と考察並びに保護者のみなさまの貴重なご意見をもとに、来年度以降、本校の教育活動を見直し、改善に努めてまいりたいと存じます。今後もより一層のご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

記

1. 児童アンケートの結果と考察(%)

大項目	中項目	項目	そう思う	だいたい そう思う	あまり 思わない	思わない
【基本方針】 明日も笑顔! 未来も笑顔!! つなげよう信頼	明日も笑顔	①学校へ行くのが楽しい	37	47	13	3
	明日も笑顔	②授業はわかりやすい	36	50	15	0
	未来も笑顔	③学校で勉強してかしく成長できていると思う	40	43	17	1
	つなげよう信頼	④先生は相談しやすい	47	33	15	5
	つなげよう信頼	⑤校長先生の話はわかりやすい	49	37	9	6
【自立】 学びの楽しさを 知り、自ら成長 する子ども	国語・数学	⑥文章を書いたり、計算することは楽しい	22	45	25	8
	基礎知識	⑦授業で知らなかった事を知るのは楽しい	39	43	14	4
	体育	⑧体育や運動など、体を動かすことは楽しい	74	17	8	2
	思考的判断	⑨自分で考えたことを書いたり話したりできる	37	45	16	3
	問題発見解決	⑩困ったことがあったら自分で考えて解決しようと思う	36	38	21	5
【協働】 他者に共感して 思いやり、助け 合う子ども	道徳	⑪学校のルールを守っている	40	40	16	4
	人権	⑫まわりの人のことを大切にしている	59	39	2	0
	協力	⑬困っている友達を助けようと思う	69	29	3	0
	平和国際理解	⑭世界のことや平和について知りたいと思う	50	33	14	3
	時間	⑮チャイムなど時間を守るようにしている	65	29	7	0
【創造】 自ら楽しみを見 つけ喜びを創り 出す子ども	夢・目標	⑯なりたい自分になれるようがんばっている	63	30	4	2
	役割活動	⑰係や委員会の仕事をがんばっている	71	25	3	0
	自治	⑱学校の生活が楽しくなるように工夫している	34	50	13	3
	芸術・感性	⑲絵を見たり音楽を聴いたりするのが好き	59	30	6	4
	読書	⑳本を読むのが好き	24	31	29	16

昨年度より、めざす学校像を「明日も笑顔! 未来も笑顔!! ~つなげよう信頼~」としています。また、めざす子ども像として「自立・協働・創造」という三本柱を立て、さらにそれぞれを達成するための具体的な方策をそれぞれ 5 項目ずつ設定しました。今年度もこの方針に沿って教育活動を継続してきました。その成果を確認するために、今年度の学校教育自己診断アンケートは、項目を昨年度と同様に設定しています。これにより、昨年との経年比較が容易になっています。

(1) 【基本方針=「明日も笑顔! 未来も笑顔!! ~つなげよう信頼~」】についての項目

それぞれの項目について「そう思う」「だいたいそう思う」という肯定的な回答を合計したところ、①「学校へ行くのが楽しい」は R5→R6→R7 の順に 80%→82%→84%に、年を追うごとに少しずつ数値が上昇していることが分かりました。

一方で、②「授業はわかりやすい」③「学校で勉強していてかしく成長できていると思う」「先生は相談しやすい」は、いずれも昨年度と比較して 1%未満の増減で、大きな変化が見られませんでした。他方、⑤「校長先生の話はわかりやすい」は 83%→89%→85%となっていました。集会などではついつい話題を欲張ってしましますが、焦点を絞って話すことが必要と反省しています。

(以下、「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計値を「肯定的回答」といいます。)

(2) 【自立】についての項目

昨年度は他の項目と比較して数値が低く、課題の一つとして取り上げられていたのが⑥「文章を書いたり、計算をすることは楽しい(=国語・数学)」という項目でした。ところがこれは、肯定的回答が59%→67%と上昇がみられました。また、⑦「授業で知らなかったことを知るのは楽しい(=基礎知識)」は 77%→82%に、⑨「自分で考えたことを書いたり話したりできる(=思考判断表現)」は 76%→82%に、それぞれ上昇しました。基礎学力にかかわる項目が、児童に肯定的にとらえられていることは、授業の内容が児童に浸透してきていることの兆しかと思われます。とりわけ⑨「自分で考えたことを書いたり話したりできる(=思考判断表現)」は、昨年度は「思わない」という否定的な回答が8%もあったのに対して、今年度は 3%に減少しています。授業の中でそういう機会をどんどん設定してきたことの成果が表れているものと思われます。

一方で、⑩「困ったことがあったら自分で考えて解決しようと思う(=問題解決発見)」は、肯定的回答が 85%→74%に減少しています。積み上げつつある基礎学力を活用して課題を解決していくような授業を工夫していきたいです。

(3) 【協働】についての項目

⑫「まわりの人のことを大切にしている(=人権)」、⑬「困っている友達を助けようと思う(=協力)は、肯定的回答がそれぞれ98%と 97%となりました。これは昨年度と同じ傾向で、はまっこたちが、普段から大切にしようとしていることが、ここからよくわかります。また、⑮「チャイムなど時間を守るようにしている(=時間)」は、肯定的回答が91%→94%となりました。自他の時間を大切に作る気持ちが育って

きているものと思われます。

一方で、⑭「世界のことや平和について知りたいと思う(=平和国際理解)」は、肯定的回答が89%→83%となっていました。今年は原爆投下や終戦80周年となったうえに、何より万博遠足に関連して様々な実践を試みてきましたが、さらに今後の興味関心につなげていきたいです。

(4) 【創造】についての項目

⑯「なりたい自分になれるようにがんばっている(=夢・目標)」は肯定的回答が88%→94%に、⑰「係や委員会の仕事をがんばっている(=役割活動)」は、肯定的回答が93%→97%に、それぞれ上昇していました。これらはいずれも、本校職員一同が大切にしたいと考えている自己肯定感にかかわる項目なので、それが数値に表れているのは喜ばしいことです。

一方で、昨年のアンケート結果から課題として取り上げた⑳「本を読むのが好き(=読書)」については、肯定的回答が66%→56%となりました。子どもの関心を高めるために、今年度の新たな方策として、●子どもが興味を持つような図書室の本の入れ替え、●特集コーナーの創設、●代表委員会児童によるおもしろい本の紹介、●朝の図書室の開放など、いくつかの手立てを考案し実践してきましたが、まだまだ芽が出るには時間がかかるようで、今後も粘り強く取り組んでまいります。

2. 保護者アンケートの結果と考察(%)

大項目	中項目	項目	そう思う	だいたい そう思う	あまり 思わない	思わない
【基本方針】 明日も笑顔! 未来も笑顔!! つなげよう信頼	明日も笑顔	①子どもは学校に行くのを楽しみにしている	55	38	7	0
	明日も笑顔	②子どもは授業が楽しくわかりやすいと言っている	22	57	19	2
	未来も笑顔	③学校は子どもに未来を生きる力をつけようとしている	26	47	24	3
	つなげよう信頼	④学校は保護者や地域の願いに応えている	33	62	3	2
	つなげよう信頼	⑤学校は学校の様子や教育方針をわかりやすく伝えている	40	47	12	2
【自立】 学びの楽しさを知り、自ら成長 する子ども	国語・数学	⑥子どもは学校で文章力や計算力を高めている	19	62	16	3
	基礎知識	⑦子どもは学校で必要な基礎知識を学んでいる	22	66	10	2
	体育	⑧子どもは学校で体育や運動を楽しんでいる	60	34	5	0
	思考的判断	⑨子どもは自分の考えを言葉で伝えることができる	21	59	16	5
	問題発見解決	⑩子どもは困ったとき自分で考えて解決しようとしている	16	55	24	5
【協働】 他者に共感して 思いやり、助け 合う子ども	道徳	⑪子どもは家庭や社会のルールを守っている	29	62	5	3
	人権	⑫子どもは周りの人を大切にしている	48	48	3	0
	協力	⑬子どもは困っている友達を助けようとしている	50	50	0	0
	平和国際理解	⑭子どもは世界のことや平和について興味を持っている	33	41	24	2
	時間	⑮子どもは時間を守るようにしている	31	45	21	3
【創造】 自ら楽しみを見 つけ喜びを創り 出す子ども	夢・目標	⑯子どもは夢や目標を持っている	40	43	14	3
	役割活動	⑰子どもは学校で係や委員会の仕事を楽んでいる	41	45	12	2
	自治	⑱子どもは生活が楽しくなるように自分で工夫している	21	59	16	5
	芸術・感性	⑲子どもは絵を見たり音楽を聴いたりするのが好きである	55	28	14	3
	読書	⑳本を読むのが好き	10	22	55	12

(1) 【基本方針＝「明日も笑顔!未来も笑顔!!～つなげよう信頼～」】についての項目

それぞれの項目を肯定的回答を経年比較してみると、R5→R6→R7の順に、①「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている」は85%→89%→93%に、④「学校は保護者や地域の願いに応えている」は、91%→89%→95%に、⑤「学校は学校の様子や教育方針をわかりやすく伝えている」が71%→80%→86%に、それぞれ数値が上昇していました。本校の教育活動にご理解いただき、ありがたく存じます。一方で、③「学校は子どもに未来を生きる力をつけようとしている」が、82%→72%に下がっていることについては反省材料です。

(2) 【自立】についての項目

昨年と比較して⑥～⑦については2%以内の増減で、大きな変化は見られませんでした。ところが、⑩「子どもは困ったとき自分で考えて解決しようとしている(＝問題発見解決)」という項目のみ、肯定的回答が82%→71%と減少し、児童アンケートと同じ傾向が見られました。

(3) 【協働】についての項目

⑫「子どもは周りの人を大切にしている(＝人権)」は肯定的回答が97%、⑬「子どもは困っている友達を助けようとしている(＝協力)」は100%で、昨年同様、こちらも児童アンケートと同様の傾向が見られました。気になるのは⑮「子どもは時間を守るようにしている(＝時間)」という項目で、前に述べた児童アンケートでは91%→94%であったのに対し、保護者アンケートでは86%→76%と、大人と子どもで逆の結果が見られました。

(4) 【創造】についての項目

⑳「子どもは読書が好きである(＝読書)」は肯定的回答が36%→33%で、児童アンケートと同様の傾向が見られました。また、この項目は、昨年度と同様に当アンケートの中で最も低い数値となりました。子どもが読書に関心を向けるような取り組みを継続してまいります。

以上、今年度みなさまからいただいたご意見を生かし、来年度も、よりよい学校づくりに、教職員一同努力してまいります。引き続き、保護者のみなさまのご協力とご支援を、よろしくお願い申し上げます。